



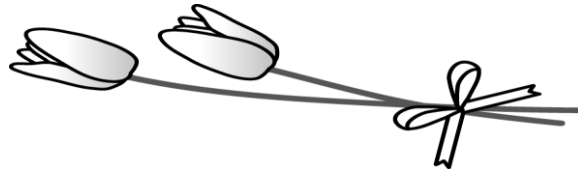
おにぎり通信

2018年5月12日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、茅場町、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日5月12日は近代看護教育の母と言われるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。

彼女に因んでこの日は1990年に「看護の日」とされました。その制定目的は「21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要であり、こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるようにする」ことにあるそうです。



※4月30日(月)は祝日の為、福祉行動はお休みしました。
今回の福祉行動報告はありません。

次回の福祉行動：5月14日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。
車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。
病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。
福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。
福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

【母の日】

5月の第2日曜日は「母の日」です。

「母の日」の始まりは、南北戦争時代のアメリカにありました。

南北戦争中にウェストバージニア州で、「母の仕事の日」(Mother's Work Days)と称して、敵味方関係なく負傷兵を助けるために地域の女性を集めて働いた、アン・ジャービスという女性がいました。

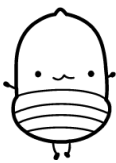
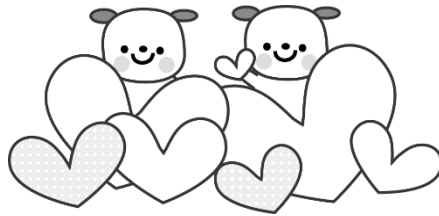
ジャービスの死後2年経った1907年5月12日、その娘のアンナ・ジャービスは、亡き母親を偲び、母が日曜学校の教師をしていた教会で記念会をもち、白いカーネーションを捧げました。

アンナの母への想いに感動した人々は、母をおぼえる日の大切さを認識し、翌年にはその教会にたくさんの方があつまって「母の日」を祝いました。これが「母の日」の始まりです。

その後、1910年にウェストバージニア州で「母の日」が認定され、1914年には、アメリカ連邦議会で、5月の第2日曜日を「母の日」とする法律が可決されました。

日本で初めて「母の日」が祝われたのは、1913年のことです。この年、青山学院で、母の日礼拝が行われました。その際、アンナ・ジャービスから青山学院にメッセージが届き、当時青山学院にいた女性宣教師たちの熱心な働きかけで、日本で「母の日」が宣伝されるようになりました。

その後、1937年(昭和12年)に、お菓子メーカーの“森永製菓”などが、「母の日」をアピールする行動を開始します。最終的には、1949年(昭和24年)ごろからアメリカに倣って日本でも「母の日」は5月の第2日曜日とされることになりました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

よつや なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 080-7795-8535